

4時間目「寄付付き商品って？」

エシカル消費

人・社会への配慮

誰かのために

社会のために

地域への配慮

地元のために

どこかのために

環境への配慮

地球のために

・フェアトレード商品
・からだを思いやる商品

・寄付付き商品
・障がい者が作った商品

・地産地消
・地元での買い物

・被災地への応援消費
・伝統工芸

・リサイクル(エコマーク付き)商品
・食品ロス削減
・オーガニック(有機)商品など

平成三十年四月

当番
小 高
磯 畑

皆さんは、街中やお店で募金の呼びかけをしているのを見かけたことはありますか？ありますよね？でも、寄付したい気持ちはあってもなんとなく照れくさかったり、ちょうど小銭がなかったりして、寄付をためらってしまったことなどはありませんか？

今回の授業で皆さんに知ってもらいたいことは、募金箱への寄付やお金を直接送る方法以外に、商品を購入するだけで寄付につながる『寄付付き商品』がある、ということです。

『寄付付き商品』とは、商品購入代金の一部が地域貢献活動などに寄付される商品のことをいいます。

たとえば、私たちの生活に欠かせない“水(ミネラルウォーター)”を例にすると、2007年から2016年までの10年間の売上げの一部をユニセフに寄付し、開発途上国において清潔で安全な水の供給につながる活動に寄付した商品があった他、現在でも、売上げの一部が日本各地で水資源の保護を行うNPOに寄付される商品があるようです。

商品を購入するだけで社会貢献ができるので、寄付をためらってしまう人でも手軽に継続して行うことができますよね。皆さんも、自分のお気に入りの商品が寄付付きだったらラッキーですね。自分は欲しいものが手に入って、その商品を作る企業への応援にもなり、さらに、社会貢献へとつながっていくんですから。

買い物をする際、その商品の購入が何かの支援活動につながるのかを気にして選んでみましょう。そして、どこかでがんばる誰かや企業、社会へ、**ちょっぴり幸せを贈って**みませんか？

来月の授業は、「障がい者が作った商品」です。障がいを持つ方がどのような物を作り、それが社会にどう影響するのかを掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 672-5994

【ひとくちメモ】

※ 皆さんもよく知っている『赤い羽根共同募金』への寄付付き商品もあり、身近な商品の購入が、地域の福祉活動や子どもの学びを応援する活動に役立てられています。

板野町の取り組み

3月10日(土)、最近の消費者問題とエシカル消費をテーマに大寺西老人クラブで、出前講座を行いました。東日本大震災から7年目を迎え、いま私たちができるエシカル消費として、被災地への応援消費や寄付付き商品の購入について紹介し、実際に商品を手にとりて見てもらいました。



ある日の先生

12月は寄付月間だそうです。私も寄付しようと思っても小銭がないことがよくあるんです。
ん？……あれ？
お、おれもない……。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。